

人工海浜「いなげの浜」で望まれるイベントに関する意識調査

千葉工業大学 生命環境科学専攻 学生員 ○安東 大地
 千葉工業大学 生命環境科学科 学生員 社田 裕美
 千葉工業大学 生命環境科学科 フェロー 矢内 栄二

1. はじめに

いなげの浜は、東京湾奥部に位置するレクリエーション目的とした国内初の人工海浜である。この浜は、海岸ゴミ処理費の増加などさまざまな問題を抱えている。特に利用者の減少は著しく早急な利用者増加対策が求められている。そこで本研究では、利用者がどのようなイベントを望んでいるかを調査し、利用者への意識調査をもとに利用者増加対策を検討した。

2. 調査概要

利用者が望むイベントを調査するために、海岸利用者を対象にアンケート調査を行った。調査海浜は、図-1に示す千葉県千葉市に位置するいなげの浜である。調査期間は2007年4月～2008年3月までの1年間とし、利用者の多い午前11時～午後2時に実施した。調査日の対象者数、天候および気温は表-1に示したとおりである。対象者内訳を表-2に示す。アンケート内容は、利用目的、利用頻度、海岸ゴミに対する評価と関心度、いなげの浜の印象、将来的にいなげの浜をどうしたいか、将来的に実施したいイベントなど20項目とした。実施したいイベントについては、他の海岸等で実施されているイベントから図-2に示す8つを選び、利用者に8つの中から実施したいイベント(複数回答可)を選んでもらった。

3. 結果と考察

3.1 望まれるイベント

図-3は、利用者が望むイベントについて示したものである。どのイベントも季節に関係なくほぼ一定の支持を集めており、年間を通して「ビーチバレー」と「宝探し」の人气が高く、「うっぱんを叫ぼう大会」の人气は低いことが分かる。

図-4は各年代における利用者が望むイベントについて示したものである。10～20代の「ビーチバレー」を、30代は「BAY-FM」、50代は「漂着物展」、また、30代以上は「綱引き」を望む傾向にあること



図-1 いなげの浜

表-1 調査日の回答者数、天候および気温

調査日		対象者数 (人)	天候	気温()		
				最高	最低	平均
春	2008/3/29	25	晴後一時曇	16.5	7.8	11.6
	2007/4/28	45	薄曇後一時雨，雷を伴う	21.5	12.2	15.1
	2007/5/5	54	晴後薄曇	25.5	18.6	21.7
夏	2007/6/16	50	快晴	31.4	18.3	23.8
	2007/7/28	47	晴れ	31.2	23.4	27.3
	2007/8/18	27	曇り	27.6	23.9	25.2
秋	2007/9/24	46	曇一時雨	24.7	21.1	22.3
	2007/10/13	35	曇一時晴	2.19	17.4	18.8
	2007/11/24	40	快晴	14.1	3.2	9.1
冬	2007/12/8	13	晴時々曇一時雨	14.3	7.3	10.3
	2008/1/26	35	晴れ	8.4	-0.3	3.4
	2008/2/16	15	晴れ	9.3	1.4	4.9

表-2 対象者内訳

年齢	男性				女性			
	家族	友達	一人	その他	家族	友達	一人	その他
～19歳	1	16	2	1	5	10	0	0
20～29歳	6	22	5	5	12	19	0	4
30～39歳	52	11	4	2	80	12	1	0
40～49歳	28	8	2	1	30	5	1	0
50～59歳	12	2	3	0	21	5	1	0
60歳～	16	1	7	1	20	3	2	4
計	115	60	23	10	168	54	5	8
総計	208				235			



図-2 イベント用紙

から、若い世代は自分も参加できるスポーツイベントを、30代以上は見ても楽しめるイベントの実施を望んでいることが分かる。また、どの世代も季節にかかわらず「ビーチバレー」と「宝探し」の実施を望んでいる。

3.2 利用者増加対策

いなげの浜の利用者は30代が中心であり、特に女性客の利用が顕著である(表-2)。また、30代の利用者の多くが家族連れであることから、30代の家族連れを対象としたイベントが最も集客力が高いと考えられる。図-4(c)より、30代の利用者はどのイベントに対しても幅広く興味を示していること、また、家族連れの女性客が多いことから(表-2)、家族で楽しみ女性も気軽に参加できるさまざまなイベントの実施を望んでいることが示唆される。このことから、夏季に「宝探し」と「ビーチバレー」を、秋季に「BAY-FM」といった季節ごとの対策を講じることが利用者の増加に繋がると言える。

4. まとめ

本研究では、利用者が望むイベントの調査結果をもとに利用者増加対策を検討した。結果、年間を通して「ビーチバレー」と「宝探し」の人气が高く、若い世代はスポーツイベントを、30代以上は見ても楽しめるイベントの実施を望んでいることが分かった。また、30代家族連れの利用者が多く、女性客の利用が目立つことから、利用者増加対策として、家族で楽しみ女性も参加できる季節ごとのイベントの実施を提案した。

謝辞：本研究を進めるに際し、千葉市美浜公園緑地事務所には調査の協力をいただいた。記して謝意を表する。

参考文献

- 1) 矢内栄二・米田規幸・矢島秀二：人工海浜「いなげの浜」の維持管理における問題点とその要因，海岸工学論文集，第51巻，pp.1256-1260，2004。
- 2) 矢内栄二・矢島秀二・並木勇輔：人工海浜の海岸ゴミに対する利用者意識の変化，海洋開発論文集，第21巻，pp.205-210，2005。

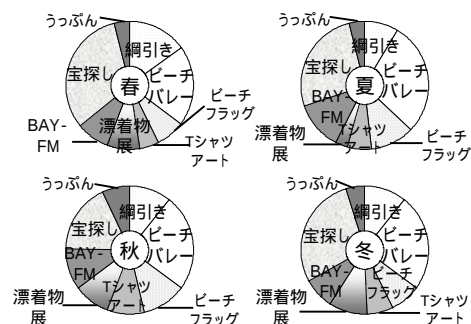


図-3 利用者が望むイベント

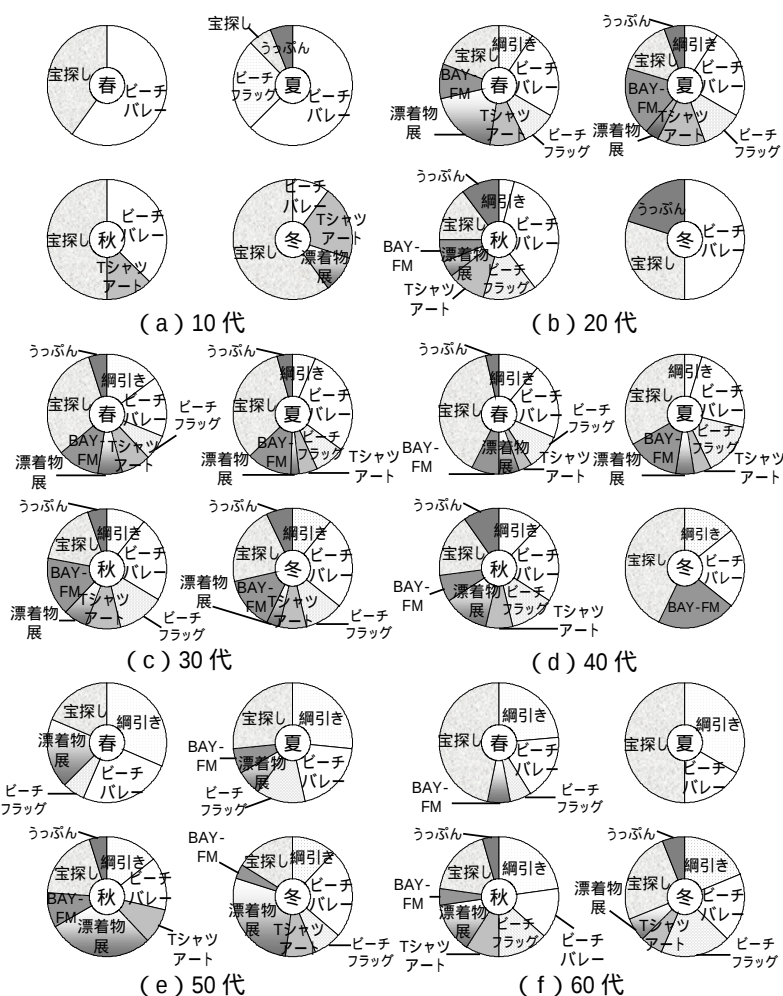


図-4 利用者が望むイベント(年代別)